

在宅医療分野における  
介護支援専門員の役割  
取り組みと今後について

一般社団法人 日本介護支援専門員協会  
副会長 小林広美

## (内容)

- 第8次医療計画・在宅医療分野における  
日本介護支援専門員協会としての役割
- 介護支援専門員による  
在宅医療サービス・コーディネートの実務

# 第8次医療計画・在宅医療分野における 日本介護支援専門員協会としての役割

---

(活動方針・地域貢献)

# かかりつけ医機能の強化・活用に向けて メディカルケアマネジャー研修

## 【目的】

これからの「かかりつけ医」制度に対応していくため、地域の医療介護連携を包括的にコーディネートできる人材を育成する

(日本慢性期医療協会が創設した「メディカルケアマネジャー養成研修」をひき継いで実施)

## <メディカルケアマネジャー>

介護が必要になった時から、医療と介護の間を行き来する状況に対し、医療と介護の両方に対応し、地域全体を網羅できる人材

# かかりつけ医機能の強化・活用に向けて メディカルケアマネジャー研修

【内容】 (約15時間)

## 講義

概論 医療保険と介護保険の知識

よりよい医療のためのポリファーマシー・ポリドクター  
患者に寄り添うための認知症の知識

重度慢性期医療の知識

リハビリテーションの知識 (急性期～慢性期・在宅)

## 演習

ケーススタディーで実践力を高める

# 在宅医療体制の整備に向けて 在宅医療における各職種連携

- ・ 入退院時の医療・介護連携
- ・ 急変時に適切に対応するための情報共有や連携
- ・ 看取りに際し本人・家族の希望に沿った医療・ケアの提供  
→ 平常時からの各事業所間の連携体制の構築（訪問看護、薬局等）
- ・ 災害時等における業務継続計画（BCP）の策定
- ・ 健康の維持、介護予防に向けての啓発等の取り組み
- ・ 介護者の支援  
（ワークサポートケアマネジャー養成研修の実施）

# 介護支援専門員による 在宅医療サービス・コーディネートの実務

---

(状況に応じたコーディネートの実際)

# 入退院時における医療連携

## 1) 入院前の医療情報の把握

傷病歴 入退院履歴 かかりつけ医 緊急時の連絡体制  
治療・指導内容 経過（守られているか）等  
健康状態や変化、本人の病気に対する認識・理解

## 2) 入院時の情報提供

## 3) 入院中の情報収集・共有

退院後の生活に向けた準備と調整

## 4) 退院に向けた情報収集と対応

退院後の在宅生活を予測しながら必要な情報交換と準備



# 療養状況・生活状況の把握と予測

## 1) 利用者の疾患の状態や今後予測される状態についての把握

<本人・家族>

- ・ 病気、予後、治療方針 等の理解や考え方
- ・ 不安、抑圧など心理的な課題等
- ・ 医師との関係（治療や療養、説明等についての満足度など）

<生活状況>

- ・ 心身機能・活動の状況（環境評価を含む）
- ・ 内服、口腔、栄養

## 2) かかりつけ医等への情報提供

# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践

## 1) 利用者自身の「望む暮らし」の実現に向けて

- ・ 症状の改善、能力・生活機能の改善の可能性の検討
- ・ 症状・生活機能の低下などのリスクに対する検討
- ・ 多職種連携

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・管理栄養士

PT,OT,ST・歯科衛生士・精神保健福祉士・医療ソーシャルワーカー

鍼灸、マッサージ師 等

## 2) 看取り (ACP 意思決定支援)

- ・ 在宅医療にかかわる機関との連携
- ・ 在宅で看取りに対応できない場合 (医療機関・介護施設等) の連携

# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践 (事例)



75歳 脊椎小脳変性症  
主訴：歩行が困難になった

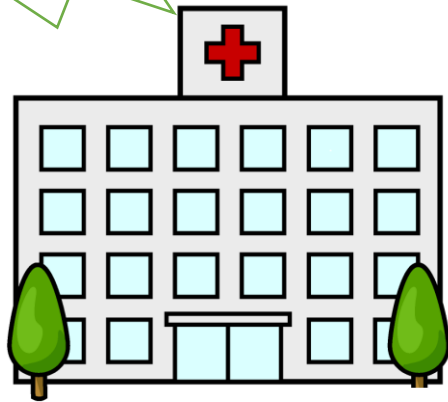


リハビリ

# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践 (事例)



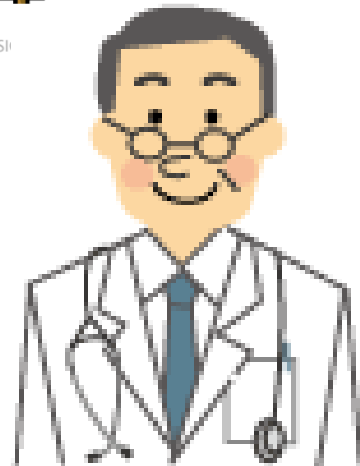
呼吸停止



75歳 脊椎小脳変性症  
主訴：歩行が困難になった



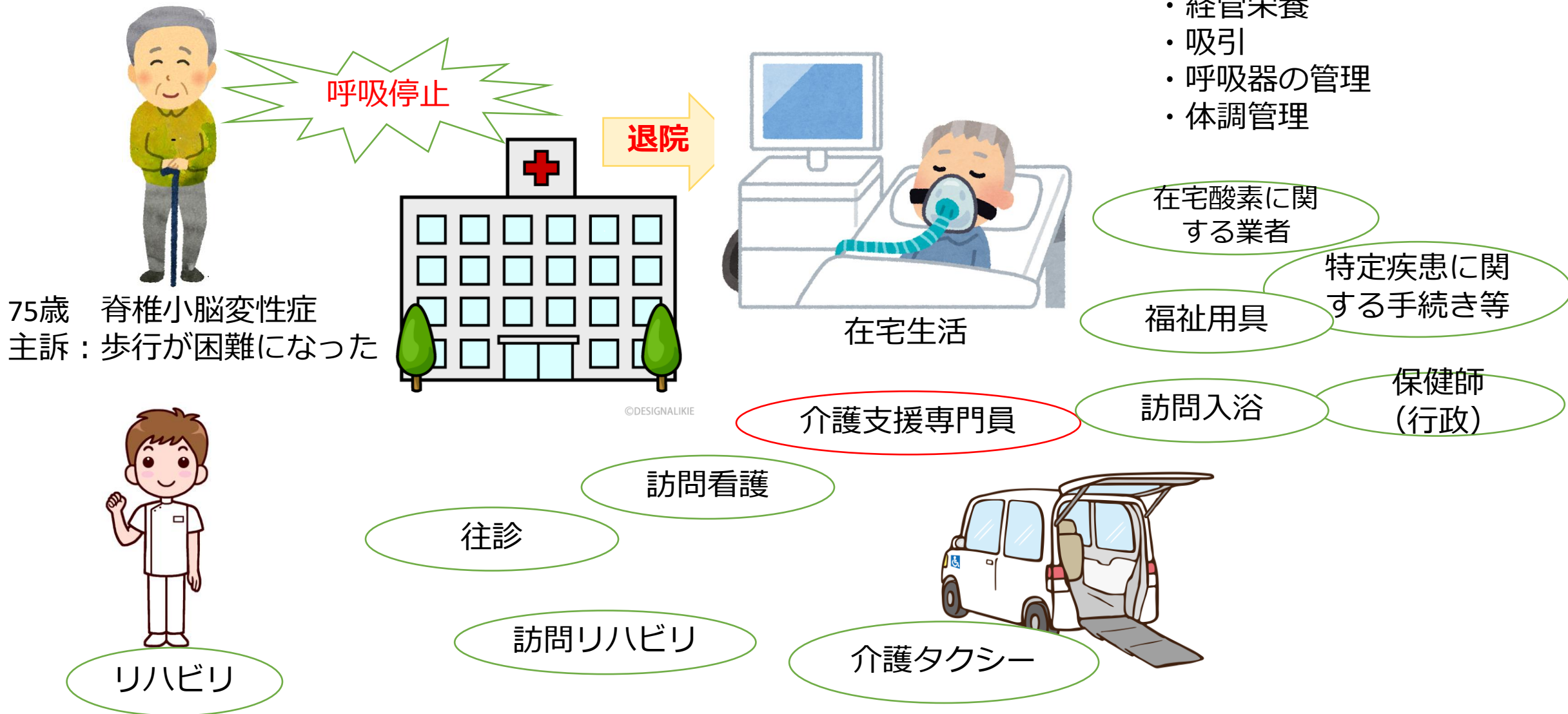
リハビリ



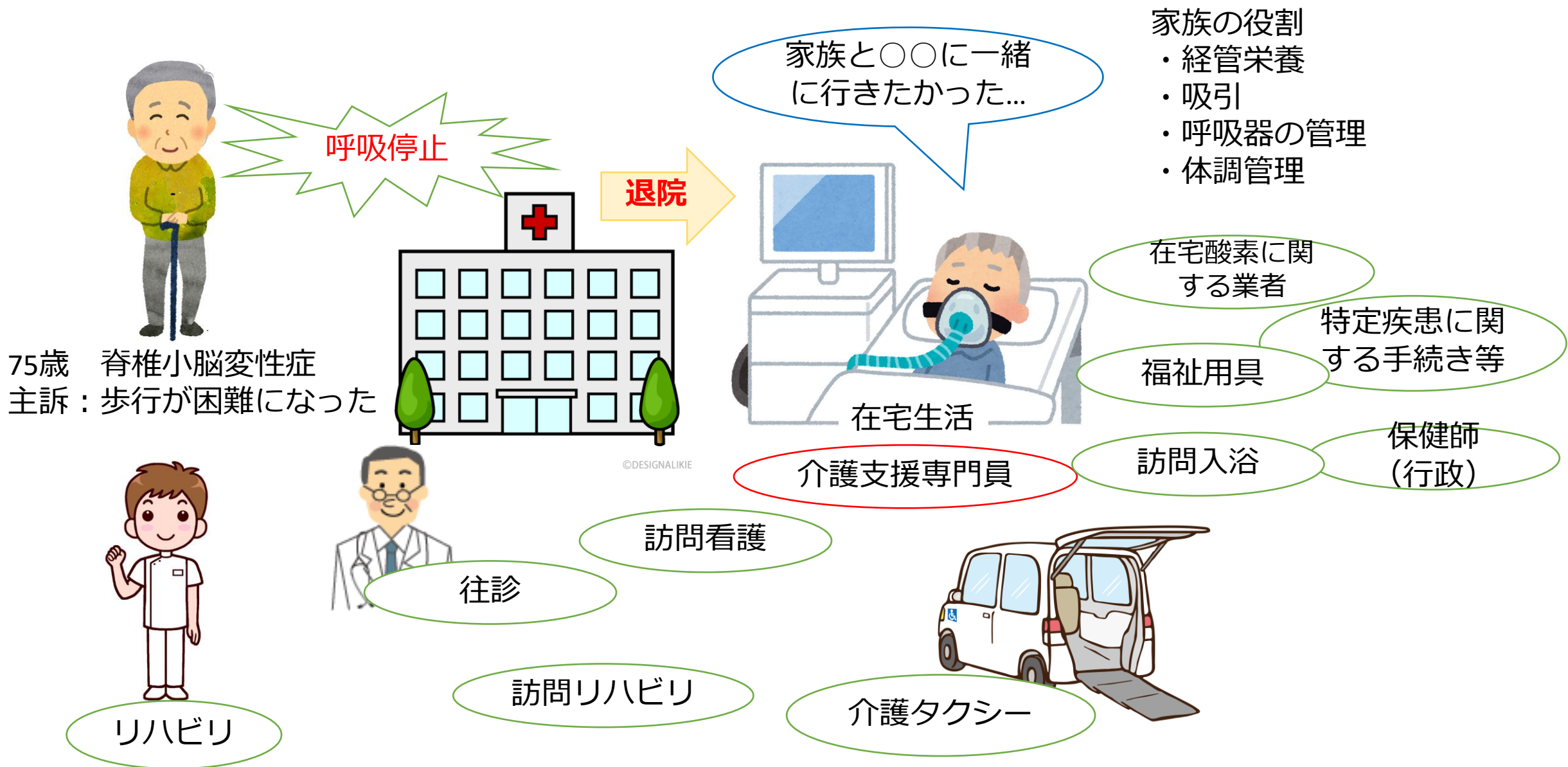
延命治療をする  
か否か・・・



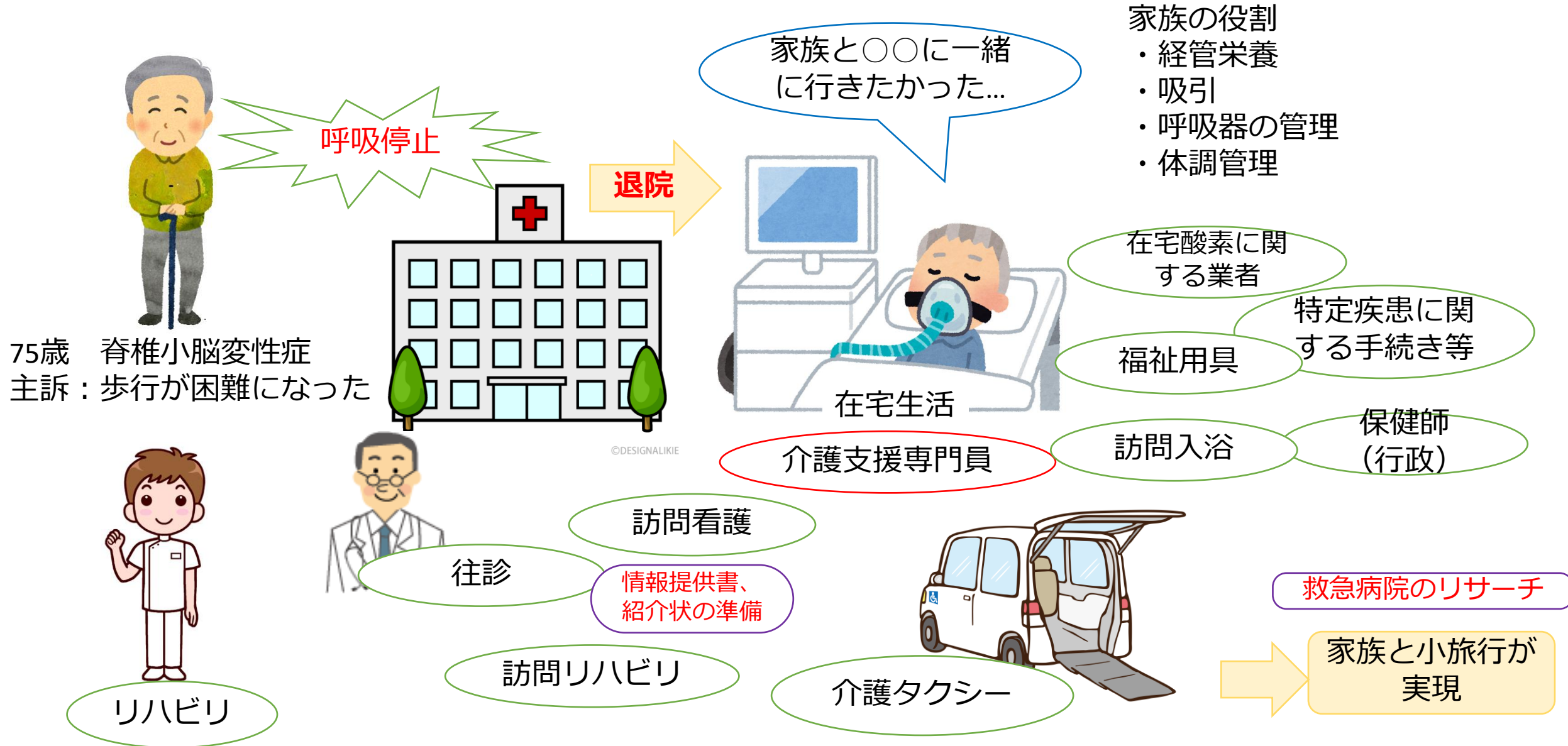
# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践 (事例)



# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践 (事例)



# 状態・状況に応じたチームアプローチの実践 (事例)



# 地域における 在宅医療の推進に向けての取り組み

## 在宅医療・介護連携推進事業

### 【地域包括支援センター】

- ・ 地域の医療介護資源の実態把握、認識共有・地域課題の抽出等多職種連携、「顔の見える関係づくり」
- ・ 研修等により互いの専門性の理解「共有言語の構築」
- ・ 切れ目ない在宅医療・介護提供体制の構築、相談窓口の設置
- ・ 効率的な情報共有のための取り組み
- ・ 地域住民への普及啓発

→現状分析、課題抽出、施策立案・実施



<在宅医療分野における介護支援専門員の役割  
取り組みと今後について>

お疲れさまでした。